

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.4】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は、4人家族のモニターです。

提供された画像からは、水分を多く含む食材の容積の減少具合とそうでない卵の殻との比較が見て取れます。

ごみの排出状況については、これまで30リットルの袋を使用していたところ、20リットルの袋で済むようになったそうです。

また、臭いについては、しっかり最後まで乾燥させると一切気にならないそうですが、水分が多い状態で稼働させてしまった時は、途中で止まり生ごみ臭が充満してしまったそうです。

このことから、生ごみ処理機器を使用しても、ある程度の水切りは必要だと言えます。

現在は週に2～3回稼働しているとのことですが、やはり電気代が気になるそうで、一番良い使用頻度を模索中だそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp